

科 目 名

**建築設計製図Ⅱ**  
**Architectural Design and Drawing Ⅱ**

(昼間) 2年 前期 3単位 必修  
 (夜間) 2年 前期 3単位 必修

秋元 一秀・内丸 恵一  
 横堀 肇・(須鎗 敬二)

概 要

建築設計製図Ⅰ同様、模写と設計からなる。模写の対象は木造住宅で、製図上の約束ごとや、技術的問題、空間の把握を学ぶ。鉄筋コンクリートの建築物と異なり、構造が下から基礎、軸組、床組、小屋組みに分けられ、さらに軸組では真壁と大壁の区別や筋違の有無、小屋組では和小屋と洋小屋の区別、スパンなどの限界性、平面形と柱梁及び屋根の形との整合性など、その構成原理を学ぶ。設計では、模写で習得した知識と技能を応用して、独立住宅の計画・設計・製図を行なう。

学習目標

- (1) 各種図面の概念を理解し、製図ルールに則った図面が描ける。
- (2) 抽象的イメージから具体的建築へと展開する設計のプロセスを身につける。
- (3) プラン(間取り)と構造体(柱梁)に整合性のある設計ができる。
- (4) 住宅にかかわる環境、生活スタイルや家族観、社会的・技術的条件などを考慮した計画・設計ができる。

授業計画

テ ー マ	内 容
① 木造建築と製図基礎	木造架構の説明、木造図面の特徴と製図方法の概説
② 平面図 i	平面図模写の説明、配置兼1階平面図の模写
③ 平面図 ii	設計課題及びレポート(敷地及びその周辺の実態調査)説明、配置兼1階平面図の模写
④ 平面図 iii	民家の見方及び平面図、床伏図、小屋伏図及び軸組図などのとり方の説明、レポート(設計課題の類似事例研究)の説明、2階平面図の模写
⑤ 架構 i	レポート(木架構事例研究)の説明、木造架構模型の説明、木造架構模型の作成
⑥ 架構 ii	民家見学及び平面図、床伏図、小屋伏せ図及び軸組図などの採取
⑦ 床伏図、小屋伏図及び軸組図 i	設計課題エスキス1の説明、床伏図、小屋伏図及び軸組図模写の説明、床伏図及び小屋伏図の模写
⑧ 床伏図、小屋伏図及び軸組図 ii	小屋伏図及び軸組図の模写、エスキス1の指導
⑨ 立面・断面・矩形図 i	立面・断面・矩形図模写の説明、断面図の模写、エスキス2の指導
⑩ 立面・断面・矩形図 ii	立面・矩形図の模写、エスキス3の指導
⑪ 立面・断面・矩形図 iii	矩形図の模写、エスキス4の指導
⑫ 設計課題図面 i	設計課題図面の作成、並びに、指導
⑬ 設計課題図面 ii	設計課題図面の作成、並びに、指導
⑭ 設計課題作品講評会	作品展示、学生投票、選出作品講評(外部講師参加)
⑮ 模写及び設計作品講評	模写及び設計作品に対する個別講評、並びに、指導

授業方法

各種図面の製図方法・レポート及び課題説明は全体で行う。模写作業及び設計課題のレポート・エスキス指導は3グループに分けて、それぞれの教員のもと個別に行う。

学習到達度の評価

- 1) 模写は製図中に見てまわり、個別にアドバイスすることで補足する。
- 2) 模写で習得した知識や技能の理解度を、設計課題の製図において確認するとともに、復習を促す。
- 3) 設計課題制作後に講評会を実施し、課題の捉え方や考え方の理解を促す。
- 4) 講評会には外部講師の参加を要請し、実務者の講評を通して発展学習を促す。

評価方法

模写30点、設計レポート・エスキス10点、設計課題作品60点で評価する。レポート・エスキス等の提出期限は厳守とする。

教科書・教材

建築のテキスト編集委員会 編「初めての建築製図」学芸出版社  
 日本建築学会 編「コンパクト建築設計資料集成」丸善  
 フランシスD・Kチン(太田邦夫訳)著「建築製図の基本と描き方」彰国社  
 配布プリント

参 考 書

「木造の詳細 1 構造編」彰国社

履修上の注意

模写は、授業時間内のみの作業とするので、集中して取り組む。レポートやエスキスは期日を守って必ず提出する。1年後期開講の「建築計画Ⅱ」において、住宅の計画・設計を行う上での基礎的知識は教授していることから、その内容に関しては復習しておく。

オフィスアワー

適宜、昼休み(12:00~1:00)に研究室にて講義内容に関する質問を受付ける。

「建築計画コース・建築構造コース」における位置づけ	必修/選択の別	学習保証時間
本科目は、シラバスに記載されている建築学科の学習・教育目標の主としてB1に関連する。	必修	67.5時間